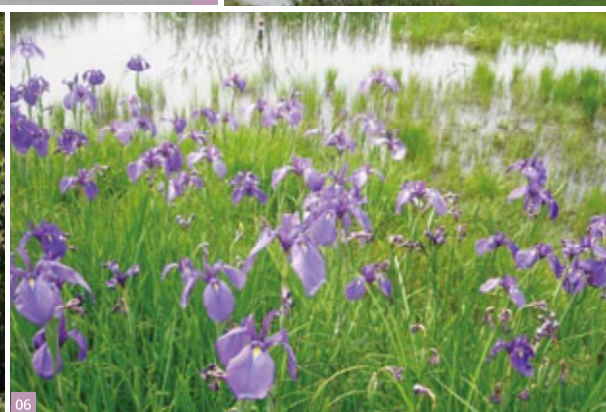


歴史・文化財

History, Cultural property

先人の足跡をたどり、文化を継承する

東海道や伊勢街道など古来からの街道沿いにあり、伊勢湾に臨み海上交通も盛んだったこの地は、多くの人々とともに物や情報が行き交う交通の要衝であり、古代からさまざまな歴史や文化に彩られてきました。



01 → 鈴鹿市考古博物館

鈴鹿市には、河川の流域や海岸平野を中心に多くの遺跡が残されています。市内からの出土品を保管展示し、特別展や体験講座を通じて昔の人々の暮らしや文化を探る情報発信センターを目指しています。

03 → 国指定史跡 伊勢国分寺跡

国分寺は、聖武天皇の詔により全国に建てられた官営寺院です。伊勢国分寺跡は昭和63年から発掘調査が進められ、その成果をもとに歴史公園として整備されました。

05 → 県指定史跡 神戸城跡

神戸家の居城として築城され、織田信長の三男・信孝が神戸家の養子となり五層の天守閣を築き威風を誇ったと言われています。現在は野面積みの石垣のみが当時の面影を伝えています。

02 → 伊勢型紙資料館

江戸末期の建物で白子屈指の型紙問屋であった寺尾齋兵衛家(市指定史跡)を修復して公開しています。鈴鹿の特産である伊勢型紙について、江戸から現代までの型紙や関連する歴史資料などを展示しています。

04 → 国指定史跡 伊勢国府跡

奈良時代、伊勢国の役所があった場所です。広瀬町の南西から亀山市にかけて奈良時代の瓦が散布する大規模な遺跡で、発掘調査が進められています。

06 → 国指定天然記念物 金生水沼沢植物群落

標高約20mの平野に位置する湿地性の植物群落で、約7,000㎡の指定地内には、ミミカキグサやトウカイコモウセンゴケなど、湿地特有の植物が生育しています。